

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和三年六月十三日発行 (毎月一回十三日発行)
定価 五〇〇円

第957号

秋季昇段・級試験課題発表表

第七十七卷

7
月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書

摩
天
氣
直
山
曾
拔
徹
底
心
清
水
共
虛

子
雀
書

摩
天
氣
直
山
曾
拔
徹
底
心
清
水
共
虛

争坐位文稿

唐

顏真卿

聞之端揆者百寮之師長
 人臣之極地今僕射挺不朽之功業
 當人臣極地豈不以才為世出功冠
 一時挫思明跋扈之師抗迴紇無一

聞之。端揆者百寮之師長。諸侯王者「人臣之極地。今僕射挺不朽之功業。」當人臣之極地。豈不以才為世出。功冠」一時。挫思明跋扈之師。抗迴紇無一

之を聞く、端揆なる者は百寮の師長。諸侯王なる者は人臣の極地なりと。今僕射は不朽の功業に挺んで、人臣の極地に当たる。豈に才は世出たり、功は一時に冠たるを以てにあらざるや。思明の跋扈の師を挫き、廻紇の「朕」無き「の請を」抗ぐ。

争坐位文稿そうざいぶんこう

唐 顔真卿がんしんけい

顔真卿（七〇九―七八五）は、安祿山の乱に際して玄宗皇帝のために反乱軍と戦い、唐の忠臣として有名です。儒教的な生活態度で人格者として有名でした。筆づかいは藏鋒を主とし筆の弾力を利用して、まるくとした点画を形成、樽のようにふくらみの形にまとめ、全体に気力があり特徴があります。

力の充実した線は王羲之をしのぐと云われました。

出間桂堂書

夜露無聲衣自濕
秋風有信葉先知

夜露無聲衣自濕
秋風有信葉先知

武内美仁書

中秋雲淨出滄海
半夜露寒當碧天

梅
川
桂
龍
書

勝
簪
白
渾
欲
不

渾⁺べて
簪^{しん}に勝^たえざらんと欲^ほす

梅
川
桂
龍
書

三 城
秦 關
輔

城關 じやうけつ
三秦 さんしん を 輔 ほ し

福
原
暁
雲
書

茶
沸
石
泉
空

茶は沸く石泉の雲

出間桂堂臨

争坐位文稿

唐 顏真卿

端揆者百寮

端揆者百寮

江西澄翠書

竹陰西復
門靜書潤
筆氣薰窗
蕭颯香

岡林邦心臨

國秀之永沉哀道宗
之長沒皇上振悼痛

邦心書

弘田賀峰臨

字は如く而入言人極難
徒来下而此語俗

賀峰臨

川渕瑞容臨

時常事多美子
向汝中架菴池

瑞容臨

因美不悟習字之速
似之為好學也

隅田亘心

池畔好風驅墨去松
寫明月逐人來

岡本空仁

松風明月未足比其
清華仙露明珠

大原桂園

青山如故入江流以黃任今
日重九逢把酒對菊花

中平美峰

晉右將軍王羲之書
和福寺沙門懷仁集

大八木洋女

千劫而不古若隱若顯
運百福而長今妙

深瀬綠堂

者三友願僕射與軍
容為耳諒之友

野中惠花

者殊為不侍坐後故
為多奇者益之也

笠原多嘉

象之法考論以頌聖
子象為我拔除之

吉永光翠

書中為九軍卷之故
富錄為公物作

橋本祝子

条幅当選作品 出間桂堂 選評

★天位

隅田亘心君||黒つぼく感じるのは梅雨のせいか、全体のバランスは良く書かれている。

岡本空仁君||いつも達者な作を感じています。今回の作、二行目全体に良くない。

大原桂園君||全体の流れに問題がある。最後まで貫通した
い。

中平美峰君||このスタイルは良しとする。が小字に雑な
ところがある。加勉のこと。

大八木洋女君||線は強くなった。整然とした作だが変化が
ほしい。

★地位

深瀬緑堂君||素朴で丁寧な作。書に対する精神が伝わる感
がする。

野中恵花君||いつもより多墨に見えるのは梅雨の関係か。
体がよく動いている。スケール大の作だ。

笠原多嘉君||余白充分で明るい。最後まで貫通している。

★人位

吉永光翠君||単体も線質も良く研究されている。

橋本祝子君||行間に注意。全体の流れよく章法も巧い。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

6月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

沈樹
書陰

不
言
行
實

富士山
登山

小学五年課題
隅田亘心書

松の音風

7月20日縮切

海広

い

小学三年課題

大原桂園書

花
火

7月20日締切

せみ

7月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

うり

7月20日締切

学校名		森	間	な	色	面	
		が	か	く	の	を	カ
	六年	、	ら	な	世	し	ヤ
		ぼ	、	り	界	ば	ツ
級段		ん	辺	ま	の	ら	ク
氏名		や	り	し	中	く	は
		り	を	た	で	す	、
		見	取	。	、	べ	鏡
		え	り	き	や	り	の
		て	巻	り	が	、	よ
		い	く	の	て	ミ	う
		ま	山	切	動	ル	な
		す	や	れ	か	ク	水

学校名						
三年						
級段						
氏名						
	わ	虫	が	て	虫	ゴ
	っ	の	黄	育	は	マ
	て	体	色	ち	は	ダ
	い	の	く	ま	エ	ラ
	き	色	な	す	ノ	チ
	ま	も	る	す	キ	チ
	す		に	。	の	ヨ
	。	黄	つ	エ	葉	ウ
		色	れ	ノ	を	の
		に	て	キ	食	よ
		か		の	べ	う
				葉		

がっこう	を	く	ま	じ	っ
		さ	せ	く	た
二 ねん	お	ん	て	を	ん
きょう だん	く	の			ぼ
なまえ	っ		た	し	ぼ
	て	え	ね	ず	は
	い	い	に	か	
	ま	よ		に	花
	す。	う	た	休	と

がっこう	げ	く	せ	
	が	て	な	や
一			か	ま
ねん			か	あ
きゆう	あ	か	に	あ
だん	り	た	は	ら
なまえ	ま	い		し
	す		な	の
	。	と	が	

秋季昇段試験作品募集

▽第一部 (準師範) 一般部級位、級位の者

○課題

葉ハ擁ユウ西風シフウ秋アキ有思ユシ天垂テンシ北斗ホウトウ夜無聲ヤムシヨウ

葉は西風を擁よして秋思あきしい有り、天あまは北斗ほくとを垂たれ夜声やこゑ無し。

○右の詩句を画仙紙半折に楷、行草体の二枚と一ページの争坐位文
稿より、十二文字以上を臨書して計三点出品のこと。

○作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級位と氏
名を明記すること。

○当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 一般部級位の者

○課題

天清テンセイ曉露キョウロ涼スズシ

天清あませいく 曉露きょうろ 涼すずし。

○右を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明
記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

☆出品料 第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さ
い。潤筆料は条幅三点につき一万五千円、半紙三点につき五千円。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○規格は半紙。一人一点とします。

○書体は自由です。

○作品の裏にエンピツで学年、現段級位、氏名を書くこと。

○作品の表には絶対を書いてはいけません。

○出品料 五百円

▽硬筆作品

○課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

○それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学校名、学年、
現段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

○出品料 五百円

△作品・出品料の締切

令和三年九月二日(木)

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

△審査日時

令和三年九月五日(日)

午前九時から審査準備、十時より審査開始

高知城ホール

△審査場所

〒783-0081 南国市片山四九〇

△受験作品送付先

西山極山 宛

電話 (088) 86518857

⑨

封筒表に「昇試作品在中」と明記する事

白頭搔

更短

(一・二段目) 福原暁雲 選評
恵花君 良く伸びて練度高し。
賀峰君 律儀な書、やや黒い感がする。今後、明るさの研究を。

澄翠君 温もりのある線で円やか。筆先がよく利っている。

清園君 堅実な書、筆力紙背の有。里園君 潤いに乏しい、筆先を大切にしたい。落款位置悪し雅号印を押すことを前提に。

空仁君 右意の入った線で明るい。右払いの研究を。

(二・三段目) 岡崎緑水 選評
美賀君 線に温かみがあり、味わいのある作。

真理君 丁寧にして書いているがもう少し大らかさがあればと思う。

司郎君 線は強いがこれゆとりが加わればなお良くなる。

祥君 真面目で流れよく明るい。幽雅君 筆使いよく、温和な作。

(三・四段目) 武内美仁 選評
祝子君 線が強く、安定感のある作。

孝北君 力みなく全体のまとまりがよい。

英子君 力強く伸びやかな作。
隆志君 少し小粒だが、みこたえ有る。

史恵君 右に同じく、やさしく真面目な作。
年子君 丁寧な、温かみがある作。(四段目) 佐々木港花 選評
清辰君 筆力あり形も整い大変良い。
慶子君 堂々として筆力あり。
絵君 線がするどく形もよく、これからが楽しみます。

白 蠟 燭

出 陸 遠

述 雖 世

風 信 雲

賀 旦

為 至

殊 事

書 自 天

為 陸 遠

出 陸 遠

活 勢

出 陸 遠

為 至

為 至

之 為

為 至

喜 落 之

車 母 像

出 陸 遠

無 絲 竹

人 每

以 遊 目

為 至

管 琴 之

令 有 公

以 遊 目

活 勢

他 沼 鼓

卿 出 才

騁 懷 足

之 為

荷 美

他 沼 鼓

出 陸 遠

活 勢

鼓 鍾

荷 美

為 至

之 為

千 里

(一・二段目) 梅川桂龍 選評

澄翠君 線質清澄白また生きて可

美峰君 躍動感にあふれ健康的。

賀峰君 線深く紙にくい込み、気力

充実の作。

深美君 力みなく静寂な臨、落ちつ

きます。

清園君 運筆が素直で線も深い。

空仁君 筆よく沈み迫力に富む。

(二・三段目) 前田秀華 選評

美賀君 線の流暢な動きで佳。

悠道君 字々流れあり。落款はやや

小さく。

司郎君 運筆にくい込みあれど墨の

粘りが氣になる。

花道君 筆がよく動き軽快。

祥 君 力まずに真面目な作。

(三・四段目) 大八木洋女 選評

順子君 力強い作品。

孝北君 今後も流れを楽しんで下さ

い。

美知君 書譜をしつかり学んで下さ

い。

輝代君 字々少し締めて下さい。

千晶君 いつもながら力みのない作

品。

愛菜君 少し小さいが柔らかな作品。

(四段目) 深瀬緑堂 選評

広人君 筆力充分。よくまとめてい

る。

清辰君 明るく爽やかな作品。

絵 君 大らかな運筆で魅力あり。

海流
北陸三年 藤原 宗

習ペン
字

習ペン
字
五年 小笠原 小樹

の五空月
五年 二宮 香佳子

海流
学童三年 長田 三行

習ペン
字
五年 納野 祐一 五花

習ペン
字
五年 小笠原 小樹

の五空月
五年 小笠原 小樹

海流
五年 若林 那瑠

習ペン
字

習ペン
字

の五空月
五年 若林 那瑠

都田園
香取三年 川口 虎之介

習ペン
字
五年 西村 柚季

の五空月
五年 須南 立莉

の五空月
池川 小五年 杉本 暎偉

都田園
朝日二年 柳田 夕英

習ペン
字
五年 西村 柚季

の五空月
五年 須南 立莉

の五空月
五年 須南 立莉

習ペン
字
五年 小笠原 小樹

習ペン
字
五年 小笠原 小樹

の五空月
五年 小笠原 小樹

の五空月
五年 小笠原 小樹

(一段目) 中学部
岡林邦心 選評
莉奈君 〓 どつしりとして良いが、紙面に対して文字を少し小さく書くのと更に良い。

悠月君 〓 前者に同じ。
美穂君 〓 明るくて良いが、二文字目と四文字目が接触したのが残念。

虎之介君 〓 落ちつきのある作で明るい。
夕苺君 〓 ていねいで筆使いも良い。

(一・二・三段目) 小学六年
河村容舟 選評
諭実君 〓 流れよく明るい。

凧君 〓 よくまとめています。
祐里花君 〓 力強く書いています。

美空君 〓 どつしりと落ちついて書いています。
柚季君 〓 伸びやかで良い。

陽菜穂君 〓 よくまとめています。
はな君 〓 ていねいで好感がもてます。

伊織君 〓 まじめに書いています。
恋菜君 〓 流れよく落ちつきがあり良い。

那瑠君 〓 のびやかに書いています。
(三・四段目) 小学五年
石川美水 選評

真音君 〓 力強く書いています。
希実君 〓 伸び伸び書いています。

せいな君 〓 ていねいに書きました。
有佳子君 〓 元気に力強く書きました。

紗奈君 〓 ていねいに書きました。
大翔君 〓 まじめに書いています。

咲優君 〓 力強くおちついて書きました。
愛生君 〓 のびやかに大きく書きました。

(四段目) 小学四年
奥堂皓月 選評

せいま君 〓 強い線でのびやかに書いています。

れタぐ 小四 小松わと	れタぐ 四年 四井博文	れタぐ 三年 小松わと	れタぐ 三年 小松わと	れタぐ 三年 小松わと	れタぐ 四年 小松わと
人形 三年 坂野一輝	人形 三年 小松わと				
あゆみち 二年 竹内ひなこ	あゆみち 二年 小松わと				
あゆみち 二年 小松わと	あゆみち 二年 小松わと	あゆみち 二年 小松わと	あゆみち 二年 小松わと	あゆみち 二年 小松わと	あゆみち 二年 小松わと

(一・二段目) 小学四年
ひなこ君 大らかに書けています。
彩心君 ねいにねいに書けています。
乙羽君 落ちつきのある作品です。
創太君 力強くまとまっています。
結愛君 のびのびと書けています。
わと君 流れよくまとまっています。
杏 君 大らかに書けています。がんばって下さい。
(二・三段目) 小学三年
陽菜君 「人」を気を付けたら良くなります。
輝翔君 力強く書けています。
としき君 ちよつと線が弱いと思います。
ふうか君 まじめに書いています。
一翔君 堂々とした作品です。
かなこ君 ねいにねいに書けています。
(三・四段目) 小学二年
岡本空仁 選評
来音君 形よく書けています。
なの君 のびのびと書けています。
ももか君 ねいにねいでしつかりした良い字です。
一花君 紙いっぱいじょうずに書けましたね。
ひなこ君 すつきりと形よく書けています。
圭吾君 力よくじょうずに書けています。
(四段目) 小学一年 ようち・ほいく 佐竹江月 選評
実咲君 のびやかに書けています。この調子でがんばって。
こうすけ君 げんきよくかけています。
あさひ君 おちついてゆつくりかけています。
たいき君 げんきいっぱいかけました。
よしひさ君 ちからづよくかけています。どんだんか
いってください。

久礼 中平 暖乃
夜須 白石 葵

小学校生活最後の一年です。一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。世界に一つだけの、だから物になりますよ。
久礼 中平 暖乃

小学校生活最後の一年です。一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。世界に一つだけの、だから物になりますよ。
夜須 白石 葵

小学校生活最後の一年です。一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。世界に一つだけの、だから物になりますよ。
多郷 六八 松浦 匠海

小学校生活最後の一年です。一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。世界に一つだけの、だから物になりますよ。
越知 六八 若枝 那留

越知 岡田 実桜
多ノ郷 橋田 茉奈

小学校生活最後の一年です。一年間、自分で課題を決め、方法を考えて、思い出に残る学習記録を作りましょう。世界に一つだけの、だから物になりますよ。
越知 六八 岡田 実桜

まどからは、昼休みの校庭が見える。明るい校庭には、サッカーをしている子たちがいる。その中に、勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
多ノ郷 五九 橋田 茉奈

まどからは、昼休みの校庭が見える。明るい校庭には、サッカーをしている子たちがいる。その中に、勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
須南 五八 前田 真音

まどからは、昼休みの校庭が見える。明るい校庭には、サッカーをしている子たちがいる。その中に、勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
須崎 五七 谷 愛莉

久礼 市川 笑梨
一ツ橋 岡村朋乃佳

まどからは、昼休みの校庭が見える。明るい校庭には、サッカーをしている子たちがいる。その中に、勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
久礼 市川 笑梨

まどからは、昼休みの校庭が見える。明るい校庭には、サッカーをしている子たちがいる。その中に、勇太のすがたを見つけた。ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
一ツ橋 岡村朋乃佳

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
久礼 四六 中平 千友

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
同豊 小四 六 飯田 ひかり

長岡 森田 千春
戸波 戸田 彩希

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
長岡 小四 五 森田 千春

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
戸波 四四 戸田 彩希

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
お知 四三 米ざわちな

そして、ぼうしをつまみ上げた。たん、ふわっ。と何かが飛び出しました。「あれ、もんしろちようです。あわててぼうしをふり回しました。
多郷 三六 森光 陽菜

多ノ郷 松浦 匠海
越知 若枝 那留

須南 前田 真音
須崎 谷 愛莉

久礼 中平 千友
岡豊 飯田 ひかり

お知 米ざわちな
多ノ郷 森光 陽菜

新 狂 鍋 島 そ う
浦 ノ 内 宮 地 輝 翔

すいせんのそばの土が
ちよろっとうごいて、豆
つぶみたいたなかえるが、
とび起きました。目をこ
すりながら、きよろきよ
ろしています。

一ツ橋 氏原 一乃
ながおか 高芝 仁貴

上 分 う め ば ら 百 叶
す さ き 松 田 な の

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

く れ 森 お か に じ
お こ う 西 宮 咲 希

お ち か た お か あ ん り
な が お か 森 田 実 咲

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

「や、お日さま。や
おまちとお。春風は
むね いっぱいに
いきを すいばい
ふう
と いきを はく

こ だ か さ 川 に し こ う す け
や す に し む ら あ さ ひ

さ こ た む ら け ん こ
す さ き た に わ き あ い ら

ね ず み は、ゆ か
を た た き ま し た
へ ん じ が あ り ま
せ ん。

ね ず み は、ゆ か
を た た き ま し た
へ ん じ が あ り ま
せ ん。

ね ず み は、ゆ か
を た た き ま し た
へ ん じ が あ り ま
せ ん。

ね ず み は、ゆ か
を た た き ま し た
へ ん じ が あ り ま
せ ん。

す さ き も う り こ は な
い づ み せ い け あ お い

第85回毛筆成績

○印は昇級

中学部

審査 岡林 邦心

三年

★九段

北陵 島村莉奈

★八段

学芸 飯田悠月

★七段

土佐塾 味元美穂

★五段

仁淀 山本心春

一年

★特待生

稲生 川口虎之介

★九段

多ノ郷 橋田夕母
須南 浜口日花
朝ヶ丘弘瀬英乃玲
上分 小松慎吾

★四段

須崎 前田理功

★二段

介良 松井柑奈

小学部

毛筆六年

審査 河村 容舟

★八段

潮見台 小松諭実
多ノ郷 黄之瀬風
夜須 白石 葵

★七段

新莊 鍋島祐里花
上分 朝比奈美空
夜須 西村柚季
上須 渡邊紗己
夜須 青木美那海
須崎 湯浅檢那乃

★六段

一ツ橋川崎陽菜穂
大篠 楠瀬太陽
上分 梅原茉広
多ノ郷 又川利斗

★五段

一ツ橋 安江はな
南 竹内雄星
南 西山璃人

★四段

長岡 小笠原伊織

★三段

久重 小笠原恋菜

★初段

多ノ郷 橋田 響

★一級

越知 若枝那瑠
越知 堅田心結

毛筆五年

審査 石川 美水

★八段

須南 前田真音
浦ノ内 正木希実
多ノ郷 橋田茉奈

★七段

吾桑 松浦由奈

★六段

蓮池 刈谷天海
長岡 押岡岳登

★五段

上分 弘田せいな
上分 植村晴陽
一ツ橋 田辺 楓
須崎 谷 愛莉

★四段

長岡 二宮有佳子
江ノ口岡村枇朶莉
多ノ郷 森岡大陽

★三段

秦 川上紗奈
波介 福永璃子
一ツ橋岡村朋乃佳
長岡 内田泰平

★二段

附属 立石大翔
一ツ橋 竹内花音

★初段

池川 杉本咲優

★一級

一ツ橋 片岡さと
池川 大田翔夢

★二級

上分○くぼ田愛生

★五級

吾桑 ○中越悠守
多ノ郷○今橋 蕾

★六級

吾桑 ○高橋咲翔

毛筆四年

審査 奥堂 皓月

★六段

南 奥崎せいま
岡豊 飯田ひかり

★五段

長岡 森田千春

★四段

長岡小笠原ひなこ
長岡 安井ふき
上分 西森美陽
岡豊 岡上真里

★三段

須崎 谷口彩心
佐古 田村いちか

★二段

甲浦 川田聖剣

★初段

池川 藤原乙羽
長岡 永尾 庵
岡豊 公文琉心
西田紗菜

★一級

池川 鶴井創太
戸波 塩見維那

★四級

須崎 ○岡崎結愛

★八級

馬路 ○小松わと

★九級

一ツ橋○田北 杏

第648回硬筆成績

○印は昇級

硬筆六年

審査 森本 寿山

★特待生

久礼 中平暖乃
新莊 鍋島祐里花
一ツ橋川崎陽菜穂

★九段

夜須 白石 葵
夜須 渡邊紗己
上分 朝比奈美空

多ノ郷 美鳥望花
多ノ郷 黄之瀬風
清新 濱田ななみ

★八段

多ノ郷 松浦匠海
潮見台 小松諭実
大篠 楠瀬太陽

夜須 西村柚季
越知 堅田心結

南 竹内雄星
浦ノ内 森田愛咲
舟入 西野心海

上分 梅原菜広
須崎 青木美那海
谷脇鈴来

★七段

越知 若枝那瑠
一ツ橋 安江はな
須崎 湯浅裕那乃
多ノ郷 又川利斗
浦ノ内 奥野海翔

★六段

馬路 久保優菜

★五段

久重 小笠原恋菜
越知 野瀬智紀路
南 西山瑠人

★四段

浦ノ内 岡本拓真

★三段

越知 岡田実核
越知 岡田夏芽

長岡 小笠原伊織
浦ノ内 藤田修宇

★二段

越知 黒石愛菜
馬路 大野柚寿

★一段

越知 細川凜香
越知 岡林柚七
多ノ郷 橋田響

硬筆五年

審査 江西 澄翠

★九段

多ノ郷 橋田菜奈
浦ノ内 正木希実

★八段

須南 前田真音
一ツ橋長山英美利
江ノ口岡村枇茉莉

長岡 押岡岳登
長岡 内田泰平
須南 宮本颯馬

★七段

須崎 谷 愛莉
一ツ橋 田辺 楓

蓮池 刈谷天海

★六段

久礼 市川笑梨
久礼 薦田もこ
多ノ郷 森岡太陽
上分 弘田せいな
吾桑 松浦由奈

★五段

秦 川上紗奈
久礼 松本紗垂弥
附属 立石大翔
馬路 牛窓莉子
上分 植村晴陽
久礼 田所萌瑠

★四段

一ツ橋岡村朋乃佳
長岡 二宮有佳子
波介 福永璃子
越知 和田陽真莉
久礼 田口江麻

★二段

越知 片岡笑瑠
一ツ橋森田明日香

★初段

浦ノ内 中井小鈴
一ツ橋 片岡さと
浦ノ内 中田莉子

一ツ橋 竹内花音
越知 吉村陽和

★一段

上分 くぼ田愛生

★二段

浦ノ内 田元つくし
○田元つくし

★三段

越知 ○岡林桃加
多ノ郷 ○今橋 蕾
久礼 松本梨杏

★五級

吾桑 ○中越悠守

★七級

吾桑 ○高橋咲翔

審査 野中 恵花

★六段

久礼 中平千友
岡豊 飯田ひかり
一ツ橋 日浦靖仁

★五段

長岡 森田千春
浦ノ内 美島乙花
浦ノ内 塩見維那
須崎 谷口彩心
浦ノ内 宮本心太
浦ノ内 森田沙和良
浦ノ内 藤田湧乃介
浦ノ内 藤田柚菜
浦ノ内 池田毬乃

★四段

戸波 戸田彩希
長岡 安井ふき
長岡小笠原ひなこ
浦ノ内 濱田龍暉
浦ノ内 岡上真里
岡豊 岡本大陸

★三段

越知 米澤知那
甲浦 川田聖剣
越知 藤野敬心
一ツ橋 田北 杏
南 奥崎誠真
上分 西森美陽
佐古 田村依子華
越知 片岡絢女

★二段

須崎 小川瑛多
一ツ橋 徳平温郎

★初段

越知 岡田侑晟
長岡 公文琉心

★一段

一ツ橋 奥田健琉

★二段

長岡 ○永尾 庵

★三級

須崎 ○岡崎結愛
岡豊 ○西田紗菜

★四級

五所 ○濱田 梓

★新規

浦ノ内 九級編入
浦ノ内 田中日向

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代	校名	学年	氏名	段級	のり代	校名	氏名	段級
3年7毛					3年7硬			
須崎多ノ郷	森岡快晴	一ツ橋	梅原勇人	★一級	須崎久礼	森田実咲	浦ノ内	★初段
馬路上分	牛窓環菜	一ツ橋	志磨村彩	★九級	須崎上分	長岡	浦ノ内	★初段
久礼	濱田かなで	一ツ橋	山下斗愛	★七級	須崎谷口	森田あつひろ	浦ノ内	★初段
一ツ橋	宮田茉尋	一ツ橋	宮崎香羽	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
長岡	高芝仁貴	一ツ橋	松田のの	★初段	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
★二段	中澤愛加	一ツ橋	田辺蒼月	★五級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
浦ノ内	矢野蒼真	一ツ橋	江頭咲良	★五級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
浦ノ内	押岡風佳	一ツ橋	宮崎あや	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
浦ノ内	藤田結愛	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
★三級	氏原一乃	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
浦ノ内	川地輝翔	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
初月	川湖結衣	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
★四級	宮地輝翔	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
新莊	鍋島 綜	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
藤沢	渡部一翔	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
★五級	森光陽菜	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
多ノ郷	森光陽菜	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
★六級	小川 理香	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
審査	小川 理香	一ツ橋	橋田天が	★七級	須崎岡崎	長岡	浦ノ内	★初段
硬筆三年								
★初段	西山あい	浦ノ内	藤田楓	★初段	★新規	藤沢 駒崎しんじ	浦ノ内	★新規
★九級編入	森田大翔	浦ノ内	岡林夢大	★九級編入	★二級	浦ノ内美鳥さいな	浦ノ内	★二級
★一級	二宮嘉奈子	浦ノ内	岡山しよう	★一級	★三級	浦ノ内松山しよう	浦ノ内	★三級
★二級	長岡	浦ノ内	森田りお	★二級	★四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四級
★三級	越知	浦ノ内	宮崎あおい	★三級	★五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五級
★二級	久礼	浦ノ内	中田こと	★二級	★六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六級
★三級	越知	浦ノ内	安並のあ	★三級	★七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八級
★一級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★一級	★九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十一級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十二級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十三級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十四級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十五級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十六級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十七級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十八級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★十九級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★二十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★二十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十一級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★二十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十二級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★二十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十三級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★二十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十四級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★二十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十五級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★二十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十六級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★二十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十七級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★二十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十八級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★二十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★二十九級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★三十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★三十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十一級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★三十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十二級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★三十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十三級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★三十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十四級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★三十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十五級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★三十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十六級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★三十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十七級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★三十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十八級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★三十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★三十九級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★四十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★四十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十一級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★四十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十二級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★四十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十三級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★四十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十四級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★四十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十五級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★四十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十六級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★四十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十七級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★四十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十八級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★四十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★四十九級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★五十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★五十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十一級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★五十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十二級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★五十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十三級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★五十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十四級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★五十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十五級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★五十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十六級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★五十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十七級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★五十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十八級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★五十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★五十九級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★六十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★六十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十一級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★六十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十二級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★六十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十三級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★六十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十四級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★六十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十五級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★六十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十六級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★六十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十七級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★六十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十八級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★六十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★六十九級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★七十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★七十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十一級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★七十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十二級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★七十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十三級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★七十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十四級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★七十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十五級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★七十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十六級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★七十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十七級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★七十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十八級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★七十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★七十九級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★八十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★八十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十一級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★八十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十二級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★八十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十三級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★八十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十四級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★八十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十五級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★八十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十六級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★八十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十七級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★八十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十八級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★八十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★八十九級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★九十級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★九十一級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十一級
★二級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★二級	★九十二級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十二級
★三級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★三級	★九十三級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十三級
★四級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★四級	★九十四級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十四級
★五級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★五級	★九十五級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十五級
★六級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★六級	★九十六級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十六級
★七級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★七級	★九十七級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十七級
★八級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★八級	★九十八級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十八級
★九級	久礼	浦ノ内	安並のあ	★九級	★九十九級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★九十九級
★初段	久礼	浦ノ内	安並のあ	★初段	★百級	浦ノ内山岡はやと	浦ノ内	★百級

お知らせ

●第39回安芸全国書展

優秀賞 福原 曉雲

入選 西山 極山

深瀬 緑堂
堀内 仁峰
大石 千施
水田 紅子
松下 紫香

●第66回須崎市総合美術展

無鑑査 岡崎 緑水

前田 秀華
江川 澄翠
小川 理香
堀内 仁峰
野島 桂山
野中 恵花
大崎 花梢

本会新役員

顧問 出間 桂堂

相談役 廣末 幽念

会長 森本 瓊象

副会長 大黒 仙雲

総務部長 福原 曉雲

総務副部長 梅川 曉雲

審査部長 塚地 桂龍

審査副部長 梅川 桂山

会計部長 野島 桂山

会計副部長 武内 美仁

会計監査 隅田 巨心

深瀬 緑堂

河村 容舟

大原 桂園

大黒 仙雲

梅川 曉雲

塚地 桂龍

野島 桂山

梅川 曉雲

福原 曉雲

森本 瓊象

大黒 仙雲

廣末 幽念

出間 桂堂

第64回 龍跳書道展出品票

◎楷書で丁寧にご記入下さい。

キ・リ・ト・リ

釈 文				題 名	大 小	住 所	氏 名
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">押ピン</div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>					たて (半折・全紙横・連落等の書き方も可) cm・よこ cm	〒 (番地まで記入のこと)	ふりがな
							懇親会
(姓 号) ()				未定	額・枠・軸・屏風 (左のいずれかを○でかこむ)	電話	ふりがな
						※連絡のない限り希望日の当番をお願いします。	

※出品票は六月二十七日(日)審査日迄に必ず提出して下さい。

※作品横(又は下)に添付します。丁寧に書いて下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

- ・新規入会申込と会費の送金先
- ・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三二一

隅田巨心

電話(〇八八九) 三五一〇九七一

電話(〇八八九) 三五一〇九七一

- ・月例作品の送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五八八五七番

- ・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九一二六五〇番

- ・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二一三〇六七番

- ・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花
電話(〇八八九) 四七一〇七二二番

あとがき

桜の開花も例年より早かったことは、季節が駆け足で過ぎていくようだ。梅雨入りの宣言も早々と出されました。私ごとになりますが、おとしから体調を崩し、会の運営等にも迷惑をかけることになり、総務会において会長職を退く事の了承をいただきました。未熟な点やいたらなかった点など多々あったであろうと思います。皆様のご協力により勤めることができました。心よりお礼申し上げます。

これからは新しい役員の下で活動は続きます。私も、今までの経験を活かし皆様と連携し相互に協力し合っていけたらと思っております。長いこと本当にお世話になりました。

退任後も宜しくご指導の程お願いします。

月例競書課題

保 育	〃 一年	〃 二年	〃 三年	〃 四年	〃 五年	小学 六年	〃 一年	〃 二年	中学 三年	半紙 随意	半紙 規定	一般 条幅	部 別	締切日
	う り	せ み	花 火	広 い 海	松 風 の 音	富 士 登 山	不 言 実 行	樹 陰 読 書	任 意	城 関 輔 三 奏	任 意	任 意	七月二十日 締切	
	な つ	ぼ ん	月 光	北 斗 星	水 車 小 屋	高 校 野 球	海 水 浴 場	競 泳 大 会	任 意	風 煙 望 五 津	任 意	任 意	八月二十日 締切	

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ③+Ⓐ=290円×月数
 17冊 ③+Ⓑ=360円×〃
 30冊 ③×3=630円×〃

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

- ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
- ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会

(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八七) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八七) 86518857